

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年10月22日 (月)

NO. 903号

本号3頁

安倍9条改憲絶対阻止！安倍政権退陣！

2900人が国会前行動

安倍政権による改憲発議を必ず阻止しようと19日、総がかり行動実行委員会などは国会議員会館前行動を行いました。時おり雨が降るなか2900人が参加。衆院第2議員会館前から国会図書館前までびっしり集まり、沖縄県知事選挙での玉城デニーさんの勝利に喜びの声をあげ、そして「安倍政権を退陣に追い込もう」「安倍9条改憲を絶対阻止しよう」とコールしました。

初めに駆けつけた社民党の福島瑞穂副党首、立憲民主党の菅直人最高顧問、日本共産党の田村智子副委員長があいさつ。田村氏は、安倍政権が狙う改憲発議について「うそをつくような内閣に、そもそも憲法を語る資格はありません」と強調し、臨時国会や国政選挙へ向けて市民と野党が「本気の共闘」で安倍政権を退陣に追い込もうと訴えました。



その後、主催者あいさつした共同代表の小田川義和さんは「沖縄県知事選の結果は、安倍政権に痛打を与えた」と指摘。それでも改憲発議や、沖縄への米軍新基地建設を強引に進めようとする安倍政権に対し、「“野党は共闘”の声をさらにあげ、安倍政権を世論と運動でさらに追い込みましょう」と述べました。

さらに、海渡雄一弁護士や市民団体の代表らが、それぞれのたたかいを語り、「安倍政権を退陣に追い込もう」と訴えました。

自民憲法改正推進本部 臨時国会で憲法改正案を、『自由討議』の場などで提示をめざす？

自民党の憲法改正推進本部の新たに就任した幹部が初めて会合を開き、国会の憲法審査会に早期に改正案の提示を目指す方針を確認しました。

会合には、憲法改正推進本部の本部長の下村元文部科学大臣や、最高顧問の高村前副総裁、それに特別顧問の細田元総務会長ら、新たに就任した幹部が出席し、来週24日に召集される臨時国会での対応を協議しました。

臨時国会では、現在継続審議となっている憲法改正の是非を問う国民投票の利便性を高めるための国民投票法の改正案を成立させる方針で一致。また国会の憲法審査会に早期に「自衛隊の明記」など4項目の自民党の改正案の提示を目指す方針を確認しました。

このあと下村氏は記者団に対し、「憲法審査会で各党が意見を表明する『自由討議』の場などで、自民党がまとめた4項目のイメージ案を発表しようということだ。意思疎通を図った。憲法審査会をできるだけ早く開催できるよう、野党とも丁寧に話をしたい」と述べました。

下村推進本部長 公明・国民と改憲案の提示等について会談

憲法改正推進本部長の下村博文氏が19日、公明の北側一雄・憲法調査会長と会談し、「改憲4

項目」の憲法審査会への提示方針や、臨時国会で憲法審査会を頻繁に開催することへの理解を求めました。さらに、国民民主党の原口一博・国会対策委員長とも会談しました。

下村氏は、安倍首相がめざす改憲案の国会発議を実現するには公明、国民両党がカギになると見て、それぞれと会談したようです。

公明党の山口代表は発議の件について、通常国会の法案のような与党協議に基づく合意ではなく、「与野党を問わず、幅広い合意をつくっていく進め方を望む」と発言。公明党は、憲法審査会の場で与野党で十分に論議し、幅広い合意形成を図る必要があるという考えを示しています。では、今回の下村氏と北側氏の会談は、その路線上のものなのでしょうか。公明党への要請を強めましょう。

3000万人署名達成にむけ、 「憲法ポスター」を地域・職場に貼り出そう!

憲法会議は、憲法ポスターを5000枚印刷し、7月16日から現在まで4600枚普及しました。残が400枚となりましたので、3000枚を増刷しました。

その憲法ポスターを、各地の「市民アクション」「9条の会」等が地域に貼り出し始めています。

岩手・田野畑村からは、村に30枚を仲間で貼り出したなら、「村の雰囲気が変わった」との報告がありました。また、富山・市民アクションおやべは、3万人の小矢部市で500冊の憲法パンフを普及しています、実に30人に一人がパンフ読者の市です。その市民アクションおやべがポスター100枚を購入し、市内に貼り出し始めています。また、千葉民医連では300枚を購入し、戸別訪問で一軒ずつ貼ってもらう行動をしています。さらに、南空知憲法共同センターでも150枚購入。

「一人ひとりの会員に手渡し、地域や職場に貼ってもらう」とのこと。北海道の夕張市、岩見沢市、美唄市等の南空知地域にポスターが貼り出されます。

先日、静岡の方からポスターの注文がありました。注文書には「ポスターを10枚お送りください。すばらしいポスターです。台風24号でカンバン毎多数吹き飛ばされてしまいました。よろしく早々」と記載されていました。この「すばらしいポスター」憲法ポスターを皆さんの地域や職場に貼り出しませんか。

頒価1枚100円で、10枚以上1枚90円、50枚以上で80円（送料別）です。憲法会議までお申し込みください。



各地で、憲法講座のDVDで学習会を開催

憲法会議は7月29日に「夏の憲法講座」を開催しました。講座では、渡辺治一橋大学名誉教授が「安倍9条改憲の危険性と、発議阻止にむけたたたかいはー朝鮮半島情勢激変、参院選を見据えてー」とのテーマで講演し、穀田恵二衆議院議員・日本共産党国会対策委員長が国会報告を行いました。

参加者からは「お二人とも分かりやすく、勇気をもらいました」と大好評でした。そして、「朝鮮半島での平和のプロセスを支え広め、この国で北東アジアの非核化をつくる大きな力をつくるーそれが改憲ストップ、3000万人署名の運動なのだ。そのために市民の連帯を広げ、力をつくしたい」との感想もありました。

その素晴らしい講演と国会報告を2時間のDVDにしました。そして、DVDで安倍9条改憲の危険性と3000万人署名の意義を自分で学び、時には仲間とも学び合い、知を力に、安倍首相が狙う臨時国会での改憲発議を阻止しましょう、と呼びかけています。



DVDは500枚作成し、300枚を普及することができました。そのDVDを活用して視聴会・学習会を開催されています。福岡・戦争をさせない早良区ネットワークでは、DVD視聴学習会を開催し、19人が参加。また、長野・上田九条の会でDVDを視聴し、「すごく良かった」と好評だったとのことで、当日のレジメと資料を送って欲しいとの連絡がありました。さらに、岐阜からは、次のような報告をいただきました。

憲法会議事務局 様

前略 去る10月11日「夏の憲法講座DVD」1組を郵送していただき有難く存じ上げます。私どもの地域にもようやく九条の会を組織することができ、今年に入り、2回「平和の集い」に参加者少数でしたが、開くことができるまでになりました。この「夏の憲法講座DVD」を利用させていただき、3回目の「平和の集い」を計画しております。付きまして、ご迷惑でなければ、渡辺治先生の講演のとき参加者に配布された「レジメと資料」の1部を郵送していただければ大変有難いと思っています。お願い申し上げます。 草々 (岐阜市 岩田邦雄さんより)

頒価 1000円 (送料別)

申込先 憲法会議 FAX 03-3261-5453 電話 03-3261-9007

各地のとrikumi

全教 署名郵送作戦など、職場や地域の実情に合わせた多彩なとrikumi

肩ひじ張らずに 気軽な気持ちで 北海道高

高教組も参加する「北海道教職員9条の会」がとrikumiでいる「写真でつなごう 私と憲法」は、日常の憲法を写真に撮って特設サイトに投稿するとrikumiです。サイトにはたくさんの写真が投稿者の思いとともに寄せられています。札幌の小学校教員の教育実践から始まったこのとrikumiを、北海道の教職員はもとより、全国の市民にも広げて、憲法への関心をもっともっと高めたいと力を入れています。様々な機会を利用してとrikumiを紹介するとともに、9月9日を中心とした「9条に乾杯」のイベントとのコラボや、11月3～4日開催の全道合研での写真展のきかくなどもすすめています。



署名用紙入りの封筒が続々と返送 奈良県教組

9月に入って、全教本部には連日「料金受取人払」封筒入りの憲法3000万署名が届いています。返送がもっとも多いのは奈良県教組です。

奈良県教組では、一人分会や二人分会など、点在している組合員に憲法3000万署名を確実に届け、すべての組合員に参加してもらうため、一人ひとりに。メッセージと署名用紙、「料金受取人払」封筒をセットにして、夏休みに郵送しました。名簿の整理、発送作業と、予想以上に煩雑な作業でしたが、書記局の大奮闘でやりきることができました。予想を超える返送の多さに手ごたえを感じ、多忙に押しつぶされてしまいような職場の中で奮闘している組合員との対話をすすめ、今後の活動にいかしていきたいと考えています。

秋田 陸上イージス配備撤回の運動に生かそうと、沖縄知事選報告集会

沖縄知事選のたたかいと勝利を陸上イージス配備撤回の運動に生かそうと、16日に秋田市で報告集会が開かれました。主催は「翁長知事追悼・辺野古新基地建設反対・沖縄知事選勝利・沖縄連帯秋田県民集会実行委員会」(川野辺英昭実行委員長)。

共産党から米田吉正県委員長が参加し、沖縄知事選後の情勢と秋田県のたたかいについて報告しました。知事選応援に秋田県から参加した5人は、それぞれ「暑さと台風で大変だったが、し烈な選挙戦で。玉城デニー知事への支持の盛り上がりと熱気を肌で感じた」と生き生きと報告。たたかいの経験は秋田で陸上イージス配備撤回、市民と野党の共闘で参院選勝利、安倍政権退陣へとつなげよう」と訴え、決意を固めました。